

令和7年度 事業報告

【概 況】

我が国の総人口は、令和8年3月の概算値では1億2,285万人で前年比57万人の減少となり、65歳以上の人口は3,622万1千人となり高齢化率は29.5%となりました。小平市の65歳以上の高齢者人口は、約4万7千人で高齢化率は24.1%となり、少子高齢化が進み人手不足の社会状況の中で、活力ある高齢者の就業施策であるシルバー人材センター事業への期待は一層高まると考えられます。

当センターの令和7年度の事業活動は、インボイス制度やフリーランス法の施行によって、センター事業への影響が懸念されましたが、会員の精励な就業により着実な運営をすることができました。また、市民まつりパレードの参加や市内一斉清掃のボランティア活動の実施は、多くの会員の参加によって有意義な活動ができました。派遣事業の実績においては、四つの選挙事務補助で、急な対応に多くの会員の協力を賜り増加となりました。9月には小学校の早朝開放見守り業務を3校からスタートし、請負・委任の事業実績は会員と役職員の連携による努力の結果、会員数と共に増加となりました。具体的には以下の3つの事業を核として事業計画に沿った取り組みを実施しました。

1つ目は、就業の提供と会員数の拡大です。パネル展や会員によるリーフレットの市内全戸配布は新規入会に多くの反響がありました。就業促進委員会による総合相談コーナーでは、新規会員へ具体的な就業の説明を行うことで丁寧な案内が実施できるとともに退会抑制に一定の効果がありました。

2つ目は、安全を意識した取り組みとして、委員会による就業現場の巡回では、7月、10月、12月に安全就業の点検を実施しました。巡回時には会員証のみならず「緊急連絡先カード」の携帯確認をしました。また、地域班長連絡会では小平警察による「安全講話」を実施したり、自転車を利用する会員に向けてヘルメットの着用を呼び掛け、例年実施している自転車無料点検会では、高齢者館のさわやか館を加えて実施して自転車に対する安全意識の向上に努めました。また、自動車を運転する会員に対して小平警察署による「安全運転者講習会」を実施して多くの会員が参加しました。

3つ目は、地域社会貢献活動として、地域の防犯・見守りを兼ね、「防犯」の腕章をして約400人の会員が公報誌等を全戸配布する事業や、小平市との「空き家等情報の提供に関する協定」に基づく活動を実施しました。恒例の市内幹線道路の一斉清掃のボランティア活動では、多くの会員が参加できるように地域を7地区に分けて、広報ボランティア委員会を主体に実施しました。

このような中、令和7年度事業実績は、契約金額が約5億5,049万円で、前年度比5.1%の増加でした。契約件数は7,109件で、前年度比2.7%の減少でした。年間就業延べ日・人員は14万2,435日・人で、前年度比4.1%の増加、就業実人員は1,027人で0.2%の増加でした。就業率は81.1%で、前年度比0.5ポイントの減少でした。労働者派遣事業では、契約件数が113件で前年度比で12件の増加、契約金額は2,526万円で前年度比35.9%の増加となりました。小平市長選挙事務補助では136名、東京都議会選挙事務補助では145名、参議院議員選挙事務補助では146名、衆議院議員選挙事務補助では145名の会員が就業しまし

た。こうした着実な事業活動の結果、年度末会員数は、1,267人で、0.9%増の5年連続の増加となりました。以下、主な事業の実施状況について報告いたします。

【事業実施状況】

1. 就業の機会確保と提供

- (1) シルバー人材センター等労働者派遣事業は、「公益財団法人東京しごと財団小平派遣事業所」として、年度内過去最多4回の選挙事務補助を受注し契約金額が増大しました。
- (2) 就業拡大員をセンターに置き、民間事業者や家庭を対象としてリーフレットの配布や訪問活動を行い、センター事業への就業機会の拡大や会員増強に取り組み、未就業の会員に就業案内をする等退会抑制に努めました。
- (3) 就業促進委員会を中心に新入会員説明会の日程を入れた「会員募集チラシ」を作成し、重点的に会員数の少ない地域に配布し、会員増強と就業の開拓に努めました。
- (4) 平成28年9月に策定された「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」の周知に努めました。
- (5) 「市報こだいら」へ学習教室の受講生募集、シルバーガイドの募集記事を掲載し就業拡大、会員増強に努めました。
- (6) 「就業の提供に関する取扱い基準」によって、継続業務における会員の就業を年齢に縛られずに安全を考慮しながら提供することができました。
- (7) 就業促進委員会を中心に総合相談コーナーで、新規入会者へ早期の就業に繋がる説明を実施することで具体的な案内ができ、退会抑制に一定の効果がありました。
- (8) 就業の提供においての就業明示をするため、会員専用サイトの登録を推進しました。
- (9) 既存の発注者へフリーランス法の関係から、包括的契約の案内をしました。

2. 研修・講習等

- (1) 就業機会の拡大、事業運営の強化、及び就業に必要な知識・技能の付与・向上等を目指して、以下の研修等を実施、受講・参加しました。植木職会員での自主研修等を実施しました。

① 東京しごと財団主催の研修等

「新任職員研修」(職員)「新任理事研修」(役員)「安全リーダー研修」(役員)「シルバー保険事故対応力向上研修」(職員)「経営管理研修」(役員)「適正就業ガイドライン研修」(職員)「公益法人会計の基礎研修」(職員)「クレーム対応研修」(職員)「シルバー事業情報交換会議」(職員)「決算実務研修」(職員)「安全大会」(役員)「総会運営研修」(職員)「広報スキルアップ勉強会」(職員)

② 第5ブロック主催の研修等

「安全就業推進のつどい」(熱中症・安全講話)「役員研修」(ハラスメント対応)「職員実務研修」(広報戦略から考えるSNS活用)「会員研修」(腰スッキリ体操講座)

③ センター主催(支援)の研修等

「コンプライアンス・個人情報保護研修」(会員)「植木職自主研修」(会員)

3. 社会奉仕活動の促進

- (1) 広報・ボランティア委員会を中心に多くの会員が参加できるように地域7地区に分けて、1

57名の会員が市内幹線道路の一斉清掃を実施しました。

(2) 公報等の配布事業は、約400名の会員が揃いのジャンパー、「防犯」の腕章を着用して市内全域で一斉に活動したため、センター事業のPRはもとより、防犯や犯罪抑止に繋がり、地域社会に貢献することができました。

(3) 「空き家等情報の提供に関する協定」について、公報等配布時に空き家調査を行い、この年度は小平市へ328件の情報を提供しました。(40件減)

4. 調査研究

(1) 社会参加の促進を図るため、AED取扱い研修、普通救命救急講習を行いました。

(2) 指定管理者業務を継続的に受注することを目的として利用者アンケートを実施し、管理員の対応が、「良い」から「普通」が有料自転車駐車場は97.8%、高齢者館は100.0%という評価は、会員が一生懸命努力している結果であると捉えます。

(3) 労働者派遣事業の拡大で課題としていた選挙事務補助にこの年度も就業し、反省点等を検証して今後の改善事項としました。

5. 相談業務

(1) 「総合相談コーナー」では、就業促進委員会委員を中心に新規入会者へ早期の就業に繋がる丁寧な対応ができ、退会抑制に一定の効果がありました。

(2) 就業促進委員会で就業等相談会を2回開催して、参加者を就業に結び付けるなど退会抑制に繋がりました。

6. 情報の収集、提供及び普及啓発活動

(1) 会員手作りの広報誌『年輪』では、会員の状況、センター事業に関する適切な情報提供を行い、会員相互の連帯やセンター事業活動の理解を深めました。

(2) 毎月2回の新入会員説明会で、理事が輪番でセンターの基本理念や事業内容等を説明し、趣旨に賛同いただける方の入会促進に努めました。

(3) センターパネル展をパネル写真等を更新して10月と2月に実施しました。

(4) 小平駅と一橋学園駅でポケットティッシュを配りながら、街頭宣伝活動を実施しました。

(5) ホームページを活用し、センターの事業計画、事業報告等を公開して最新の情報を会員、発注者、関係機関に発信し、情報の共有化を図り、円滑なセンター事業を促進させました。

(6) 全国シルバー人材センター事業協会、東京しごと財団、第5地域シルバー人材センター主催の各種会議に参加して、高齢者の就業に関する情報の収集と提供に努めました。

(7) センターパンフレットを市内全戸配布して、会員募集や受注拡大に努めました。

(8) 小平市の「市民便利帳」や「にじバス時刻表」、「小平市全図」のマップ、「ごみ・資源指定収集袋」に広告を掲載して、センターのPRに努めました。

7. 安全就業

(1) 組織活性・安全委員、安全就業推進員等が、7月、10月、及び12月に就業現場の巡回指導を実施し、安全就業の徹底を図りました。

(2) 「安全標語」の募集、「シルバー保険制度」の周知、交通事故傷害保険の加入促進、熱中症予防の周知を行い、安全意識の普及啓発に努めました。

- (3) 自転車安全点検会を実施して、努力義務化されたヘルメットの普及と着用に努めました。
- (4) センターの車両を運転する際に、酒気チェックを実施すると共に、バック運転する際には同乗者が降車して後方確認をする体制を整えました。
- (5) センター車両を運転する会員を対象に、小平警察署による「安全運転者講習会」を実施しました。

8. 管理・運営事項

(1) センター事業の適正かつ円滑な運営を図るため、以下の活動を行いました。

ア 外部理事・外部監事の設置 令和7年3月4日の理事・監事選考委員会において、特別利害関係にある者を制限するため外部理事（小平市健康福祉部長）・外部監事（公認会計士）の選考を実施しました。下記表のとおり、第15回定時社員総会で選任され、理事会の出席を求めました。

イ 定時社員総会

開催年月日	場 所	主 要 議 題
第15回 令和7年6月17日	小平市福祉会館 市民ホール	1. 令和6年度計算書類等の承認の件 2. 定款の一部変更の件 3. 役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正の件 4. 理事15名の選任の件（外部理事1名を含む） 5. 監事2名の選任の件（外部監事1名を含む）

ウ 理事会

No.	開催年月日	主 要 議 題
1	令和7年4月24日	1. 入会会員の承認について 2. 定款の一部変更（案）について 3. 理事会運営規則の一部改正（案）について 4. 役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正（案）について 5. 会員の表彰について 6. 決算監査について 7. 令和7年度事業報告（案）について 8. 令和7年度計算書類等の承認の件について 9. 理事15名の選任（案）の件について 10. 監事2名の選任（案）の件について 11. 総会の議案・報告事項等について
2	令和7年5月22日	1. 入会会員の承認について 2. 定款第37条の変更（案）について 3. 理事の選任（案）について
3	令和7年6月26日	1. 入会会員の承認について 2. 特定資産の取り崩しについて

No.	開催年月日	主要議題
		3. 顧問の選任について 4. 新入会員説明会の割当について 5. 専門委員会の割当について 6. 仕事別グループ担当理事の承認について
4	令和7年7月24日	1. 入会会員の承認について 2. 指定管理者の応募について
5	令和7年8月28日	1. 入会会員の承認について
6	令和7年9月25日	1. 入会会員の承認について 2. 規程等の一部改正（案）について 3. 令和7年度ボランティア活動実施要領について
7	令和7年10月22日	1. 入会会員の承認について 2. 令和8年度センター事務費率の設定について
8	令和7年11月27日	1. 入会会員の承認について 2. 「職員給与規程」の一部改正（案）について 3. 「職員の等級及び初任給に関する基準」の一部改正（案）について 4. 「職員の勤勉手当に関する基準」一部改正（案）について 5. 「準職員就業規則」一部改正（案）について
9	令和7年12月25日	1. 入会会員の承認について 2. 創設50周年記念事業について 3. 剰余金の解消策について 4. 特定資産の取り崩しについて 5. 令和8年度専門委員会事業計画（案）について 6. 令和8年度予算編成方針（案）について 7. 役員賠償保険の加入について
10	令和8年1月22日	1. 入会会員の承認について 2. 第5次長期計画（案）について
11	令和8年2月26日	1. 入会会員の承認について 2. 令和8年度事業計画（案）について 3. 令和8年度収支予算書（案）・収支予算書内訳書（案）・資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類及び当該事業年度において行う公益目的事業の種類又は内容、収益事業の内容について記載した書類について 4. 令和8年度事業予定について
12	令和8年3月26日	1. 入会会員の承認について 2. 規程等の一部改正（案）について 3. 理事とセンターとの取引の承認について

エ 専門委員会等

議 名	回 数
組織活性・安全委員会	5回
就業促進委員会	5回
広報・ボランティア委員会	4回

オ 地域班長連絡会・・・3回開催しました。

カ 地域班長懇談会・地域班会議・地域懇談会等

地域班会議（第1地域、第2地域）を実施しました。

キ 仕事別グループリーダー・担当理事の懇談会

各仕事別グループで「後継者育成について」をテーマに実施しました。